

あい あい あい

2018年

3月号



小屋取漁港から女川原発を望む。そばには民家も建っている (2018/2/8)

女川原発は再稼働させない。 「原発はいらない」の声を宮城から世界へ

理事 鈴木真奈美

東北地方太平洋沖地震の震源地に最も近い原子力発電所、女川原発。7年前のあの日、私たちがそれぞれ目の前の恐怖と戦っている時、女川原発も危機にさらされていました。地震により1号機の外部電源は喪失、復旧までの冷却をディーゼル発電でつなぎ、2号機3号機はかろうじて生き残った一本の外部電源で冷却。そして1メートルも沈下し海拔13・8メートルになった敷地に襲いかかる13メートルの津波。その事実を「あの揺れにも津波にも耐えた」と武勇伝とするか「首の皮一枚、助かった」と幸運に感謝するか、そこには大きな隔たりがあります。

2月某日、女川原発を訪れました。海側から原発建屋を一望できる小屋取こやどりの船着場から見ると、女川原発は、知っているそれとは違っていました。「安全対策」とやらを施し、全長800メートルの防潮堤が建屋を隠していたからです。あの自然の破壊力を、たった7年前に目の当たりにした人類が、また自然を侮っているようにしか思えません。県民の約7割が女川原発の再稼働に反対しているというのに、再稼働に向けて多額の資金を投入し建設された防潮堤・・・落城寸前の城に即席で新たな塀を築く、無駄なあがきに見えたのは私だけでしょうか。

海風に吹かれながら、民家を横目に建つ女川原発を見ると、建設当時の反対運動の声が聞こえてくるようでした。当時、人々の「対立」と地域の「分断」をもたらしながら稼働を始めた原発は、震災後7年間冷温停止中。今、再稼働の現実が近づいています。私たちはこの宮城で、原発は要らない！と行動で表現し声を上げ続けなくては。その声が日本中に、世界に波及するように。

CONTENTS

▶ あいごはん企画各地で開催 …2
▶ 組合員交流会報告 …3

▶ 震災特集 放射能汚染と向き合って…4-5
▶ 4月からまんま通信がリニューアル …6

▶ ネオニコチノイド系農薬学習会報告 …7
▶ 生産者さんにあいに行こう！コッペの巻…8

ブロック肉を使いこなして 「じもとん」の美味しさを 堪能しました！

2017年度 あいぶらんど運動推進委員会
『みんなであいごはんをつくろう』報告

『地産地消と言える産地で生産されたこと・美味しさと良い品質・多くの組合員さんに支持されている』この3つの視点で選ばれた商品を私たちは『あいぶらんど商品』と呼び、この食材で作ったお料理を『あいごはん』と呼んでいます。



配達担当の職員も参加

調理しながらあいぶらんど商品を学ぶ「みんなであいごはん」、今年度はあいコープの豚肉『じもとん』がますます好きになる！美味しさの秘密に迫ります」というテーマで、岩沼中央公民館・若林区中央市民センター別棟・泉区松森市民センターの3会場で開催しました。

『じもとん』は市販品と比べて臭みがなくジューシー、脂身まで美味しい！と多くの組合員さんからご支持いただいているあいぶらんど商品です。どの会場でも各エリア配達担当の職員さんにも参加いただき、組合員と一緒に『じもとん』の餌や飼育環境などを学習しました。また、NPOとうほく食育実践協会の食育コンダクターにはブロック

参加者アンケートからは『食べ物を選ぶ基準のお話が大変勉強になりました』『心を（ひと手間を惜しまず）かけてご飯を作ろうと思いましたが』『ブロック肉はハードルが高いと思っていたのでいろいろ

試食の時間には大切に育てられた食材をコンダクターが丁寧に調理して下さい、じもとんだからこそ美味しく味わえるお料理の数々をいただきました！

肉の調理の仕方や食育クイズなどを通して、食べ物を選ぶ基準や楽しい食卓づくりのお話を伺い、参加した皆さんは真剣にメモを取りながら話に耳を傾けていました。



1頭のバラ、ロース、モモの比率は…

るなレシピを教えていただけで良かったです』『美味しい安全はもちろん楽しい食卓になるよう心掛けたいです』など嬉しい感想をいただきました！

『ブロック肉の調理はハードルが高いと思っていただけで早速作ってみたい』というお声を多数いただきましたので、あいコープ自慢の『じもとん』がこれを機会に多くの組合員の皆さんにご利用いただけたいと思います。ご参加下さった皆様ありがとうございます。

理事 太田代一世



みんなと一緒に、いただきます！

2月 組合員 交流会 報告



私たちあいコープでは、毎年2月に組合員交流会を開催しています。今年は10地区11会場で美味しい試食と楽しい学びがある集いが開催されました。交流会では組合員さんから直接お話を伺うことで今後の活動に生かすと同時に1年間の活動を振り返りながらあいコープの活動紹介をしました。



鍋布団が大人気！チーズケーキも作れます



2月15日宮城野地区交流会（宮城野区中央市民センター）では、鍋布団で参鶏湯とチーズケーキ作りをしました。

鍋布団の中にお鍋を入れて保温調理すれば時間だけでなく、光熱費も節約できます！参鶏湯はしっかり5分、チーズケーキは1分加熱するだけで鍋布団にお任せ！1時間後にはお肉も他の具材もトロトロの参鶏湯と、しっとりとしたチーズケーキが出来上がりました(*^^*)

最近ではあいコープの交流会に参加して良さを実感し、それが自分の生活の一部になっていくと同時に気づいたら自分にも環境にも優しい生活ができたわ♪ってそんな嬉しいお話が聞けるようになってきました！みなさんも各地区の交流会に参加してみてください！きっと新しい発見があるはずですよ☆

（理事 太田代一世）

2月15日 仙南地区組合員交流会（名取市愛島公民館）では鍋布団でシンガポールチキンライスとプリン作りを行いました。参加した皆さんは、鍋布団料理を初めて体験する方達でしたので、興味津々。省エネ調理ができる鍋布団を使った料理法のことから、鍋布団の作り方まで沢山のことを学びました。

調理している間に、いろいろな鍋布団の紹介と共に、毛布やタオルケット、発泡スチロール箱、新聞紙、保冷バック、保冷や保温に使用するアルミの布等、鍋布団に代わるものを活用して簡単に鍋布団料理が出来ることも分かり、「鍋布団をきちんと用意しないとできないと思っていたけど、使用できなくなったタオルケットなどでもOKなことが分かり、少しハードルが下がりました。」との感想が聞かれました。その後、生協の成りたちやあいコープの取り組み、今年度の仙南地区の活動を紹介しました。（理事 三浦一枝）



やってみれば簡単でした！



それぞれの場所で 原発事故による放射能汚染と向き合う人々

2011年3月11日(金)14時46分18秒、東日本大震災発災。

その時、あなたはどこにいましたか?誰と一緒にでしたか?福島第一原発事故のことを知ったのはいつですか?その後の放射能汚染と、どう向き合ってきましたか?

震災直後は、母親たちをはじめ多くの方が原発事故と放射能汚染について大きな関心を持っていました。今はどうでしょう。もう、過ぎた事なのでしょうか?

関心をもち続けることはとても大切です。それぞれの体験を『わが事』として捉え、考えることも重要です。原発事故から7年目、放射能に翻弄された方たちの今をお伝えします。



東日本大震災による地震と津波の影響により、国際原子力事象評価尺度において最悪のレベル7(深刻な事故)に分類される事故を起こした東京電力の福島第一原子力発電所。廃炉作業が続くものの、未だに放射能は放出され続け、事故処理の終わりは見通せない。画像は事故当時のもの。 画像: Google

17年後では故郷に生きて戻れない!



多くの人々に絶望や葛藤の苦しみをもたらした3・11原発事故から8年目を迎えた。避難解除、帰還と復興の報道が流されている反面、何も解決していないばかりか、事故の被害の個々の実態は深まっている。

先日開催した、浪江町の強制非難の皆さんを激励する『新年もちつき会』が本宮市恵向仮設で開かれた。庄内協同ファームさんとあいこーぷふくしまの主催で今年で7年目を迎えた。

この中で高木仮設住宅(2017年3月閉鎖)の自治会長だった高橋さんは「私の自宅がある浪江町・津島地区の復興計画では(線量が高いため)今後5年で第1次除染、さらに5年かけて第2次、そして7年かけ第3次と合計17年計画の除染です。今年が還暦の私は17年先の帰還まで生きて戻れるか...」と涙を流してみんなに訴えた。

原発事故の背景には「原発を1日停止すれば1億円の損失」と保守や安全対策を手抜きしてきた「利益第一」があった。この考えは、多くの企業・商品にも共通性があり、安全安心が「最優先」とする、私たちの生協運動を通じて、商品に、企業にそして社会に浸透差違せていくことが、原発事故の責任追及の側面かもしれない。

あいこーぷふくしま理事長 佐藤孝之



ホダ木5万本を処分



東日本大震災の前は、ハウスと山林ホダ場を利用して乾椎茸と生椎茸の生産を行っていましたが、福島第一原発事故による放射性物質の影響で収穫前のホダ木5万本を処分する事となり売上也殆ど無くなりました。

やむを得ず震災被害の融資を借りて、再開に向けて必要な対策を検討しましたが、震災直後は国「行政機関」も安全対策のガイドラインを示す事ができず、2013年になってやっとガイドラインが示されました。それに沿って安全な原木椎茸の栽培に取り組んでいますが、九州地方からの原木調達、また、新たな「クヌギ原木」による生産技術の習得など課題に立ち向かいながらの生産状況にあります。

また、乾椎茸を生産する山林ホダ場の整備は安全性を確保するため、国から示された放射性物質の低減対策を行う必要があり、それに掛かる経費負担が大きいので、五年計画でその整備を行い震災前と同様の安全で美味しい原木椎茸を生産しよう努めて参ります。

原木椎茸生産者 芳賀裕

ふくしまの子供たちとの夏休み

毎年7月になると、あいこーぷふくしまの子供たちは、3日間庄内で過ごします。50人ほどの親子連れで、にぎやかに、楽しそうに、大型バスでやってきます。外で何の心配もなく、伸び伸びと遊び、自然と触れ合える機会を作りたいという思いから庄内ツアーは始まりました。庄内協同ファーム、月山パイロットファームの生産者で迎えられています。

由良海岸での海水浴やクラゲで有名な加茂水族館、だだちゃ豆の収穫とその場でゆで立てのただちや豆の試食など、盛りだくさんのメニューですが、ちよっぴり勉強もします。どうやって豆は育つか、土の不思議など、子供たちは興味深そうに聞いてくれました。また、夜は、地元の生産者とその家族との交流会も行われます。子供たちはすぐ打ち解けて、仲良く食事や、ゲームに夢中になっています。中学生から2歳くらいの子まで



年齢はバラバラですが、子供たちなりの秩序でグループが構成されるようで、見ていると、人は社会的な生き物なのだと思わされます。これも生きた学習というのでしょうか。事故もなく無事に帰途についたときはほっとしますが、また来年も来てくれるのかなと思う夏休みです。

月山パイロットファーム 相馬一廣

見えない不安や失望感と向き合った日々

自分で食べるもの、あるいは暮らして使う電気の自給、薪の利用といった自然や季節に寄り添った暮らしを目指し、宮城県最南端の山里に移住したのが12年前のこと。いよいよ目指す暮らしの形が見えはじめ、この土地に根づきつつある矢先に東日本大震災がおこりました。福島県との県境に位置するこの土地においては福島第一原発の事故の影響による汚染被害は大きく、見えない不安や失望感と向き合う日々が続きました。「再エネで地域を再興しよう」、そんなムードが高まり7名の仲間と共に「ひっぽ電力」を立ち上げたのは平成28年3月のこと。たくさんの方々の支援をいただき建設した太陽光発電所「ひっぽ復興発電所1号」に続き、新たに13基を建設中です。「ひっぽ電力」への参画、加えてエネルギー自給の提案をライフワークに、希望の種を蒔いていきたいなと思っています。

ひっぽ電力 金上孝



電力会社切り替えの説明(筆甫地区)

1/25(木) 県知事懇談会参加 報告

江陽グランドホテルで開催された、宮城県生協連主催の村井嘉浩宮城県知事との懇談会に、あいこーぷから4名が出席しました。あいこーぷからは鈴木真奈美理事が電力産地応援と環境の取り組みについて報告し、知事に私たちの活動への理解を深めていただくことが出来ました。また、みやぎ生協の大越健治専務理事から、安心して暮らせる地域づくりにむけた取り組みについて、松島医療生協の浦生功理事長から、健康づくり、まちづくりの取り組みについて、宮城教育大学生協学生委員の丹野瑛允さんから、健康安全まつりの取り組みについて報告がありました。



2/1(木) 「もんじゅ視察ツアー報告会」報告

東京都内で開催された報告会にあいこーぷからも参加し、約70名が集まりました。阻止ネットが昨年11月に実施した、廃炉になる高速増殖炉もんじゅを視察するツアー報告を、多くの組合員や市民と共有しようというものでした。最初に原子力資料情報室の伴英幸さんから「なぜ政府が高速炉開発と核燃料サイクルを断念しないのか」について講演がありました。続いてあいこーぷの鈴木理事は「自分の住む町じゃないから関係ないと思っていた人が多かったから、こんなことになってしまった。今回のツアーで見てきたもの、感じたことを、あいこーぷ組合員に伝えたい」と報告しました。最後に、あいこーぷの高橋理事長がアピール文を読み上げ、満場の拍手で採択し報告会を終えました。



おだいのたねまき



誰もが安心して

暮らせる社会を

入学祝・節目祝のお知らせ

春はジョイケアシステムの入学祝・節目祝の季節です。ジョ

イケアは、あいコープ独自の組合員が出し合う毎月1000円の拠出金により成り立っている組合員同士のたすけあいと地域福祉のしくみです。組合員が利用できるもの一つとして入学祝と節目祝のポイントサービスがあります。

節目祝は長い間あいコープを支えて下さった組合員歴20年目と30年目に該当する組合員さんを対象に3000ポイントが付与されます。対象となる組合員さんには加入日登録データに基づき別途通知する

ので節目祝の申請は必要ありません。

入学祝は2018年度4月に小学校・中学校へ入学されるお子様を持つ組合員に1000ポイントを付与します。こちらは自己申告になりますので、詳しくは3月に配布される入学祝申請書のチラシをご覧ください、必ずお子様の年齢を証明する資料を添付して、期限内に提出してください。締切を過ぎた

り、ポイント付与時に脱退や休眠状態の方には付与されませんので、ご注意ください。皆さんの申請をお待ちしています。ジョイケア事務局 土屋法子

入学祝・節目祝は、
2018年3月31日時点で
組合員の方が対象です。
ポイントは5月4日のお届け
明細に反映します。
入学祝の申請締切は
4月13日(金)です。

今年の節目祝の対象となる
加入年
◆ 20年目 1997年加入
◆ 30年目 1987年加入

まんま通信のある暮らし

4月からまんま通信がパワーアップ!

2018年4月からのまんま通信は、組合員さんの暮らしにありたい商品を中心に役立てていただくことを目的として「まんま通信で暮らす一週間」をテーマに編集します。

新しい組合員さんが増え、それに伴い組合員ニーズも幅広く変化していく中、現在の品揃えやアイテム数は決して満足のいくものではないと考えております。これまでと変わらないうまいコープが大切にしている価値観を鮮明にしながら、ニーズに応えたアイテム強化を図ります。

今年の1月から、これまで1週あたり約500点だった企画アイテム数を約575点まで増やしました。それと共に利用も大きく伸び、組合員さ



相澤課長



まんま通信制作の様子

んの生活によりまいコープの商品が浸透してきたことが窺えます。約575点の商品は現在まんま通信、39周年感謝祭チラシ、お料理キットチラシで展開しており、この3誌を統合するため2018年4月1日よりまんま通信のリニューアル・増ページを行います。

これからも商品価値を伝え、発信し、多くの組合員さんに利用していただくことで、まいコープの活動や理念を世の中に広げていけるよう、まんま通信を精錬されたものへと発展させていきます。

企画製作課長 相澤俊介

理事会議事録抄

2018年2月6日(火)

- ▼2018年度議案書作成スケジュールを確認した。▼2017年度活動報告案の策定について協議した。▼2018年度活動方針案策定について協議した。▼GMナタネ自生調査企画書を承認した。▼エネシフみやぎとの共催による「おだやかな革命」上映会企画書を承認した。▼4月布おむつ談議企画書を承認した。▼NPO法人とうほく食育実践協会11周年企画への後援と協賛を承認した。▼月次経営報告を承認した。▼まんま通信紙面リニューアル方針を含む商品部関連報告を承認した。▼2017年度拡大予算期限前達成を含む事業部関連報告を承認した。

組織概要

(2018年1月分)

【組合員数】	14,257名
【供給高】	170,628千円
【一人実利用高】	5,533円/週
【出資金】	1,139,982千円



●最近のヒットは越さんのチャプチェ!

泉・k+

あいづらんど運動推進委員会学習会
子どもの発達障害と
ネオニコチノイド系農薬

農薬は脳毒!

ネオニコ使用の輪を広げよう

1月18日エルソーラ仙台にて『子どもの発達障害とネオニコチノイド系農薬』わたしたちで考えることを考えてみましょう」と題した学習会を開催しました。

110名を超える組合員の申し込みがあり、県内外から来てくださった生産者やゲストで会場は座席が足りなくなるほどで関心の高さを感じました。

医学博士で環境脳神経科学情報センター代表の黒田洋一郎氏は、近年見られる自閉症、多動性障害、学習障害など子供の脳の発達障害の増加とその原因が、農薬や環境化学物質と関係があること、また日本で増加している神経毒性があるネオニコチノイド系農薬(ネオニコ)の危険性を丁寧に説明下さいました。

弁護士でダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議代表の中下裕子さんはネオニコの環境や人間への影響と諸外国の動きについて述べられ、日本が今のままネオニコの使用を続けることの危険性を熱くお話しくださいまし

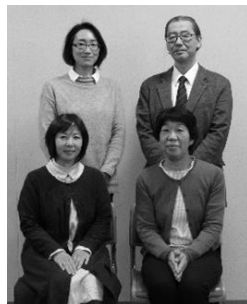
た。『私たちにできること』それは私たち消費者が『知る』そして『選択する』ことです。行動しなければ安全な暮らしや環境は守れないということを感じました。

あいコープではネオニコを使わないでお米や野菜・果樹を生産する取り組みを生産者とともに『優づらんど』として組合員の皆さんにお届けしています。生産者の方々が日々努力しながら生産して下さることを知り、買い支える組合員でありたいと思えました。

理事 木口裕美



ジョイケア事務局です



あいコープには「誰もが安心して暮らせる地域作り」を目指すジョイケアシステムという組合員同士の助け合いと地域福祉のしくみがあります。事務局の運営は3名のケアメイトさんと担当職員1名が担っています。

ケアの依頼者からの電話を受けてケアメイトさんにつなぐ「たすけあい」のコーディネイトや組合員活動に欠かせない集団託児の手配、福祉担当の理事さんと一緒にジョイケア新聞の発行、ケアメイト研修会やジョイケア講演会の企画運営なども行っています。ジョイケア担当 豊嶋馨

編集後記

電気屋さんの修理受付カウンターでひとりのおばさまが、炊飯器のお釜を手に、「内釜が壊れてご飯炊けないの。修理の間、炊飯器借りられるかしら。」と、困っていました。別な日、知人が「掃除機が壊れて掃除できないの。いよいよル●パデビュ一かな。」と、嬉しそうでした。ねえねえ。炊飯器がなくてもご飯は炊けるのよ。お鍋があるじゃない。掃除機がなくても、お掃除はできるのよ。箒も、雑巾もあるじゃない。電気がなくても、家事はできるのよ。知恵も技も工夫もあるじゃない。あるでしょう。

広報担当理事 高野 恵美子

●機関紙あいあいあいのご意見・ご感想

組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、配送もしくはFAX(022-284-6973)にて、あいコープみやぎ理事会へ広報宛にお送り下さい。

組合員の皆さんの『つばやき』も大募集中!

ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。

個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

組合員が利用できる電話相談

- 3/13 年金相談**
相談員: 社会保険労務士 兵藤政行氏
相談時間: 13:30~15:30
- 3/13 法律相談**
相談員: 弁護士 松澤陽明氏
相談時間: 13:30~15:30
- 3/20 ぐらしの相談**
相談員: 消費生活専門相談員 加賀淳子氏
相談時間: 10:30~12:30
- 3/20 子ども相談**
相談員: 宮城教育大学教授 菅井裕行氏
相談時間: 10:00~12:00
- 3/16 思春期相談**
相談員: 臨床心理士・スクールカウンセラー 北條貴子氏
相談時間: 9:30~11:30

お申込み・お問合せはジョイケア事務局へ



022

284-7277

平日 9:00~17:00

電話相談について

- ▶各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい。随時受け付け可能です。
- ▶予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。

ジョイケア利用状況 (2017年12月分)

ささえあい(保障)	0件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	60件	利用延べ人数	63名
集団託児	18件		
慶弔・出産	19件	◆ケアメイト	
電話相談窓口	9件	稼働延べ人数	69名
計	106件		



① 嫁がインフルエンザにかかった。お料理キット、買ってあって助かった。

組合員の皆さん

生産者 さんに あい に行こう! ⑭ コッペの巻

基本に忠実。安心でおいしいクッキーを



2月5日、仙台市宮城野区にあるパンとクッキーのお店「コッペ」にお伺いしました。まんま通信でおなじみ、大人気のおいしく安全なクッキーを作っているコッペは、今年で30年目を迎えます。

「障害のある人もない人も共に働ける社会の実現」「可能な限り

安心、安全な材料で」この二つの柱を掲げ3人で事業をスタートし、現在は18名の在籍者を抱えるまでに大きくなりました。にぎやかな通り沿いのお店も近所の人たちにすっかり定着している様子です。この二つの柱の根っこは同じところにある、と代表の飯嶋さんはおっしゃいます。「難しくさせるのは能率を優先した社会の在り方」。深く考えなくてはいけないテーマをあくまで明るく語る飯嶋さん。お店で働く皆さんにも楽しく明るい空気が流れていました。

更に材料へのこだわりを伺うと、小麦は出来る限り国産・東北産、マーガリンは低脂肪酸のもの、オリーブオイルは有機のパレスチナ産、そして何より沢山の人が届くための価格設定・・・と数々の驚くようなこだわりが。おいしさの一番の秘訣を伺うと「基本に忠実に」との誠実なお答え。おいしいクッキーに込められた「想い」に、ますますファンになってしまいそうです。



コッペ
飯嶋 茂さん

コッペは、誰もが共に働ける場を作ろうと始まりました。東北産小麦を原料に安全で美味しいパンとクッキーを作っています。福祉という看板はあえて掲げず、普通のパン屋さんにとままたま障害のある人も一緒になって働いている、そんなお店を目指してやってきました。障害当事者の現在の工賃の平均は約5万。それぞれが自分の役割があり、みんなで協力して製品を作りあげています。

コッペは今年で30周年を迎えます。続けて来ることができたのは、楽しそうに働いている障害当事者がいたからと、美味しいといってくれるお客さんがいたからこそです。あいコープの皆さんに感謝です。今では通ってくる障害当事者の姿も当たり前風景として街に根付いてきています。このことは、障害者も地域の中で共に生きるといふことの何よりの実践と考えています。

Calendar *今後のイベント*

3/14(水) 脱原エネシフ委員会
あいコープのシネマカフェ
「チャルカ〜未来を紡ぐ糸車〜」上映
&
高速増殖炉もんじゅ見学報告会

場所/ 日立システムズホール仙台 交流ホール
時間/ 10:17~12:30 (予定)

3/16(水) あいぶらんど運動推進委員会
優ぶらんど報告会

場所/ エルパーク仙台 セミナーホール
時間/ 10:00~12:00 参加費/無料

委員オリエンテーション
4会場で開催します
4/18 イズミティ 21 会議室
4/19 柳生市民センター 会議室
4/24 エルパーク仙台 セミナーホール
4/27 日の出町センター 会議室

いずれの会場も
開催時間は10:00~12:00です。
詳細は後日配布のチラシをご覧ください。

地区委員さん募集中! 一定例会見学も受付中ー

地区委員会は
楽しい!
おいしい!
学べる!!
あいコープの仲間だから
本音トークができます。

お問い合わせ先
☎ 0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email soshiki@mamma.coop
(担当:組織運営室長 豊嶋)

